



## 解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。折りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

2017. 2 月第 579 号

発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

ルカによる福音書は、シモン(のちのペトロ)たちがガラリヤの漁師を弟子にする主の物語を劇的に伝える。夜通し漁をしたにも関わらず、魚一匹釣れずじまいのガラリヤの漁師たち。明日こそはと明るく語りながらも、明日もダメかと思ふ不安がよぎる。そんな思いで網を洗っていたシモンの舟に、主は乗り込まれた。彼はきつとこの珍客に喜んで舟を出したにちがいない。主は舟上から群衆に教えられる。シモンももちろん、舟の中でその話を聞いていた。けれども彼の頭の中は、漁のことではない。いだった。主はそんなシモンに「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」(ルカ5:4)と言われる。この言葉は、彼にとつて驚きであつたに違いない。どうやら良い教えを話す人、噂では、神の人として癒しや不思議な業を行うらしい、そして何よりも不漁の日、舟を使つてもない、いくばくかの報酬を当てにできるかもしれない。彼にとつて、すぐそばにいたイエスはそれ以上でもそれ以下でもないそんな存在だったのだ。いつ岸へもどるか、それが彼の一番の関心だった。ところが、その意に反してイエスは反対に沖へ漕ぎ出せと命じ、漁をするようにと言われる。その時のシモンの答えが、全て

を物語っている。半ば呆れ顔で、しかしこの素人のお客の機嫌を損なわぬよう彼は言う。「先生、わたしは、夜通し苦労しました。が、何とれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」(ルカ5:5)

## 瞑想

お言葉ですから、網を降ろしてみましよう。

ルカ5:5

主幹牧師 榎本 恵

ていたと想像しても、あながち間違ひではないと私は思う。もう一度沖へ出て、漁をするより早く岸へ戻つて、明日の準備をした方が、どんなに良いか、漁はお遊びじゃないんだと、普通はそう考えるだろう。しかし、シモンは、洪々そこで「お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答え、その結果、彼の常識も、経験も、知識も、知恵もはるかに凌駕する、驚くべき出来事、大漁を経験をするのだ。

彼は、恐れおののき、自分の愚かさ、罪深さに主の前にひれ伏しこう叫ぶ「主よ、わたしは罪深てくだのです。わたしは罪深い者なのです。」(ルカ5:8)まさに「罪」と言う言葉の意味が「的外れ」であるように、自分はなんと的外れな男であつたのか、私はこのシモンの言葉の言外にそんな彼の声を聞くような気がする。そのシモンに対し、主は「恐れることはない。今から後、あなたは

ぎ話ではない。それはまさに、今この時を生きる私たち自身のことであるのだ。「み言葉に聞き従う」とは、「み言葉に感心する」とも、「み言葉を理解する」とも違う。それはまさにマリアが、「お言葉通りこの身になりますように。」(ルカ1:38)と天使の告知を受け入れたように、カナの婚礼の日、召使いたちは、イエスの命じた通り、「かめの縁まで水を満たした。」(ヨハネ2:7)ように、そしてペトロが、「お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」(ルカ5:5)と網打つたように、なすことなのだ。それは、全く簡単なことのように難しい。そのお言葉に従おうとする時、私たちの外的外れが、私の知識や経験、常識や習慣がそれを邪魔する。しかし愚かなまでも、意味もわからずとも、そして洪々でさえも行なったものだけが、この驚くべき主のみ業を見ることが出来る。

さあ、友よ。沖へとこぎ出し網を降ろしてみよう。かめの淵まで水を満たそうよ。その人生の中で「お言葉ですから」とただ従つてみようよ。その時、私たちは主の驚くべきみ業を目撃する。そして私たちは自分の愚かさ、小ささ、そして的外れさを思い知り、ただただ主の前にひれ伏し、「人間を取る漁師」となる。

# アシュラム修道場生活記

## その1「出会い」

伊達 平和

「アシュラム修道場」という言葉を聞いて人は何を想像するだろうか。きっと「怪しい」と思うのは私だけではないだろう。阿修羅と関係があるのかなのか、修道の名のもとに何がおこなわれているのかいないのか。少し考えただけで首を捻ってしまう、そんな語感である。しかし、神のなさることは恐ろしいもので、この怪しさしかないアシュラム修道場に、今では平気な顔をして住んでいるから人生には何が起こるかわからない。



新年の早天祈祷会后、  
アシュラムセンター  
台所にて  
写真右から2人目が  
筆者、子ども達は  
るつ子姉の孫  
ちいろうひろばの仲間

アシュラム修道場。それは、アシュラムセンターに属するボロ屋敷—もとい、修道場である。我が国におけるアシュラム運動の草分け的存在である故榎本保郎牧師は、この家を神学生の集まるプロテスタントの修道場として、築XX年の日本家屋を買い取り、様々な人を住まわせてきたと伝え聞く。修道場から徒歩5分に位置するアシュラムセンターで毎朝行われる早天祈祷会への出席、家の管理を努力事項として、これまで多くの神学生や「ワケあり」の人が住んできた。毎朝祈祷会をサボる神学生、深雪に耐えかねて毎朝駅までの送迎を要求する高校生などなど、昔話を聞けば「修道って何でしたっけ」と、聞き返したくなるエピソードが山盛りである。そして今では、奨学金という借金を背負ったワケある人として、名誉ある修道場住人の末席に私がいるという次第である。

とかく、人と人との出会いは不思議なもので

ある。記憶をたどれば、私が彦根で就職を決め、家を探していたとき、妹が「近江八幡に住めるところがある」と教えてくれたことがきっかけであった。妹曰く、高校の同窓生である「ソラクン」の父親が牧師で居住スペースを貸してくれる。「ヤスコサン」に連絡を取れば家を見せてくれる、とのこと。渡りに舟と思った私は、適当にお土産を買い込み、3日間の修道場生活と早天祈祷会を体験し、「ルツコセンセ」「メグミセンセ」そして「カズコセンセ」との交わりを通して、修道場から職場に通う可能性を考えた。かくして、「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」という御言葉だったのだろうか。「なんや、おもろそうやな」とピンときた私は、京都はマールブランシュで購入した、ワンランク上の菓子折りを礼金代わりに「入居申し込み」をしたのであった。

2016年3月から始まった修道場生活、新しい人との出会いや早天祈祷会生活を通して、日々新しくされている自分がいることを実感している。「アシュラム修道場生活記」は、そんな「ワケあり」31歳が綴るアシュラムセンターでの交わりと心の成長(予定)の記録である。次回「世話にならない」。お楽しみに。

プロ  
ファイル



クリスマス愛餐会で、弾き語りする平和兄。  
中島みゆきさんの「糸」の曲を美しく♪♪

伊達 平和  
(だて へいわ)

1985年、福岡県福岡市のクリスチャンホームに生まれる。

大学・大学院の12年間で京都で過ごし、現在滋賀県の某大学教員。

2016年4月よりアシラムセンター修道場に住み、早天祈祷会に出席し“るっちゃんルンルン福音食堂”で朝食、時には弁当まで頂き、出勤する生活を送っている。

専門は社会調査、家族社会学。趣味は合唱と声楽。  
歌うこと全般。

[illegible]



# アシュラムセンター合同聖書教室・ クリスマス愛餐会に参加して

唄野 絢子



皆様でたくさん讚美しました♪♪♪



年に一度の合同聖書教室。午後はクリスマス愛餐会。大阪からもらして下さり感謝です。

昨年、そのあとのお食事、お交わり、讚美、どれもすばらしかったです。深く、心満たされて、帰路につきました。どの建物も、お庭の木々も花々も、（特にコスモスが美しく出迎えてくださってうれしかったです）おもてなしの心がこもっていました。皆様の笑顔が、思い出され、天国のようでした。「おめでとう、恵まれた方、主があなたと共におられます。．．．恐るな．．．」主からのメッセージ、いめぐらしています。今日も92才の車椅子の一人暮らしの方の家で8名で同じ箇所の手紙で質問に答えながらよいコイノニアをもちました。きのうのメッセージをかみしめました。

～皆様からの義援金が竹内兄（熊本アシュラム）によって、ルーテル学院にも届けられました。

感謝のお便りをご紹介します。～

## お礼状

主の御名を賛美します。

このたびの熊本地震に際しましては貴重な義援金を賜り、こころから感謝お礼申し上げます。いただきました義援金は、被災した園児・生徒・学生への学費等減免措置、および学院の施設復旧のため、大切に活用させていただく所存です。

あわせて、多くの皆様より温かい励ましのお言葉と勇気をいただきました。おかげさまで、本学院の認定こども園ルーテル学院幼稚園・ルーテル学院中学・高等学校、九州ルーテル学院大学・大学院、九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園のすべての学校において5月中旬までに再開することができ、園児・生徒・学生の明るい笑顔と希望が戻ってきました。

余震は収まりつつありますが完全に復旧するまでにはもうしばらくの時間がかかると思います。本学院は、安心・安全を最優先し、学院の全面的な再開に向けて全力を尽くしてまいります。

今後も本学院を温かく見守りいただき、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

皆様に恵みが豊かにありますように。

2016年10月11日  
学校法人 九州ルーテル学院  
理事長 福田 邦子  
院長 内村 公春

お支えとつながりに心より感謝申し上げます。  
復旧工事は終了し、外なる復興から、真の内なる復興のために励みます。  
祈りと共に、お支えとつながりを願います。

村田 博文

た。いっぱいありがとうございました。うございました。  
（堺大浜キリスト教会）



鈴木一志兄の美しい讚美♪  
保郎牧師時代からのアシュラムの友。



ダブルハウスにて



みなさま！次のクリスマス、美味しい食事と豊かな讚美♪そして何より、恵み溢れる主のみことばを、ご一緒に味わいませんか？お待ちしております。

## 熊本地震のための

## 暖かいお支えに感謝して (3)

熊本アシシラム 竹内一臣

そのころ挙母市はトヨタ自動車の進出で、市名も豊田市に変わり、農村伝道から工場働く人へ伝道するという方向へ変わっていきました。大勢の中学や高校を卒業した少年達が集団就職列車に乗って全国からトヨタ自動車に就職してきました。当時12,000人

若者がマンモス独身寮で生活していました。教会も県外から働きにきた青年が多く水曜日の聖書研究会は20数名の青年男女が参加し、活発な学びが続けられていました反面、これらの青年たちの中には、会社と寮の往復ばかりで、日曜の休みにも気分転換できるものはなく、自動車をつくる夢を抱いて来たものの、明けても暮れてもネジをしめるだけといった夢と現実の格差に失望し、働く意味を見失い、人生に絶望する者もあり非行に走る者もいました。そして問題が起る度に、あ

のしょうもない奴らが」と、地域の人々からは白い目でみられ、避難され、社会問題となつていきました。

緒方先生は、その若者の悩みを聞くにつれて、自分にできることは何だろうか、神様この挙母教会に何を望んでおられるのか、神様ののみ旨を求めて祈りました。そしてこの働く少年達に憩える場所を提供し、彼等の悩みを聞き、彼等の生きがいを見つけてあげることに、神様がこの挙母教会に求めておられることだと思いました。

彼は行政に頼るのではなく、「民間企業が私の趣意に賛同して、傷つき悩んでいる青年達が集い憩う場を民間団体で立ち上げるにはどうすればよいか」、彼は同労者であり、自分の一番の理解者である宣教師のイングルスロード氏に相談しました。「まだ日本には普及していないが、アメリカ

にはボランティア活動というのがあつた。今アメリカでは数百万人のボランティアが地域社会のために、無給で活動している。」と教えてくれた。

「青年が憩える施設を行政に頼ることなく、民間の力で立ち上げ、ボランティアの力で運営する。」その夢を実現したい一心で、施設の設計図を建設会社の設計士に描いてもらい、愛用の黒いカバンに入れて持ち歩いていました。その頃「麻の実会」という婦人読書グループがあり、その集まりに講師として招かれた時にこの問題を話しました。「愛」とは家を離れて働きに來ている青少年の問題に積極的に関わることだと話し、豊田市が、それらの青少年にたいしてどのような配慮をしているか、福祉について忘れられていたのではなか」と訴えました。

そこに同席していた酒井県議員からは、行政の立場からそのテーマについての意見が出され、課題は次から次へと大きく膨らみ、婦人たちは、この青少年の問題を実践に移して、彼等のオフクロ

役として奉仕活動をしたという思いを募らせていました。その夢を実現するために、小さくてもいいから、暖かい家庭的な雰囲気を持った青少年たちとの出会いの場、勤労青少年のための施設が欲しいと願うようになりました。その時、緒方牧師は、数カ月前から黒い革のカバンに入れて持ち歩いて一枚の夢の施設の青写真を取り出し、それを広げて参考として皆にみせました。その図面に強く心を留めた酒井県議は、「これを見せたい人がいる。しばらく貸して欲しい」と先生に頼まれたのです。

この婦人たちのひたむきな願いに心を動かされた酒井県議は強い信頼で結ばれていた当時高丘工業などの社長であった渡部新八氏に、緒方牧師から託された夢の施設の青写真を持って、相談をもちかけました。かねてから、企業経営者として真剣に若者たちの幸せのために心を寄せていた渡部社長は、直ちに麻の実会の会員、緒方牧師、酒井議員と会って話を聞くことになりました。始終笑顔で聞いていた渡部社長は

話しを聞き終わると、胸の内を語った。「実は私も、あの若い連中のことが気になっていました。本当に素直で良い青年達なのに、寮に帰るとケンカをしたり、ガラスを割ったりする。なぜかと良く考えみると、寮の中には家庭がないことに気づいた。会社としても彼等のことを考え、良かれと思う事をやってみても、会社のすることがどうも信用されない。我々の思うことが青年達に伝わらずに悩んでいた。しかしそれを担ってくれる人もいない。もし、それを会社と無関係のあなたたちがそのような役割を果たしてくださるなら、こんな嬉しいことはない。私も協力しよう。」と励ましの言葉をかけた。打ち解けた楽しい語らいの後、渡部社長は話しを続けた。「お金の問題はワシが考える。酒井さんが、県や市および地域との接触をやる。緒方さんが、その施設に魂をいれる。それでよからう。それに地域のお母さん方が、我が子に接するような愛をもつて関わって下さい」と懇願した。



## 2月のアシュラムなど

|      |                                              |                                      |
|------|----------------------------------------------|--------------------------------------|
| 3(金) | 阪神ミニアシュラム<br>(主恩教会 PM1:00)<br>奉仕者 榎本恵師       | 0748-33-4030<br>アシュラムセンター            |
| 4(土) | 呉アシュラム<br>(日本アライアンス呉教会)<br>奉仕者 榎本恵師          | 0823-21-8571<br>日本アライアンス呉教会<br>山下和彦兄 |
| 6(月) | 福岡聖書教室<br>(博多クリオコートホテル PM1:30)<br>奉仕者 榎本恵師   | 092-607-8251<br>樋口栄子姉                |
| 7(火) | 大阪聖書教室<br>(大阪クリスチャンセンター AM10:30)<br>奉仕者 榎本恵師 | 0748-33-4030<br>アシュラムセンター            |
| 9(木) | 常任運営委員会<br>(アシュラムセンター)                       | 0748-33-4030<br>アシュラムセンター            |

海外アシュラム予定  
(榎本保郎牧師召天40周年記念の年です)

|                                                                                                      |                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| ニューヨークミニアシュラム                                                                                        |                     |
| 日時                                                                                                   | 2月18日(土)            |
| 場所                                                                                                   | 日米合同教会              |
| 奉仕                                                                                                   | 榎本恵師                |
| 申し込み                                                                                                 | 榎本空兄 NY516-395-5187 |
| 第33回 愛修会(台湾アシュラム)                                                                                    |                     |
| 日時                                                                                                   | 2月22~24日(水~金)       |
| ブラジルアシュラム                                                                                            |                     |
| 日時                                                                                                   | 2月22~23日(水~木)       |
| ブラジルルージアモス教会アシュラム                                                                                    |                     |
| 日時                                                                                                   | 2月26~28日(日~火)       |
| ロサンゼルスアシュラム<br>榎本保郎牧師を偲ぶ会、コンサート                                                                      |                     |
| 日時                                                                                                   | 4月1~4日(土~火)         |
| 1日:一日アシュラム、2日:偲ぶ会、3~4日:一泊アシュラム<br>日本、世界各国からの参加もお待ちしております。当日は現地集合です。<br>お問い合わせ アシュラムセンター 0748-33-4030 |                     |

## 2017年3月以降のアシュラム予定

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| 4月14~15日      | 第24回 三重アシュラム                |
| 4月29日         | 第20回 阪神一日アシュラム              |
| 5月3日~5日       | 熊本アシュラム                     |
| 5月3日~5日       | 関東青年アシュラム                   |
| 5月19日~20日     | 第4回 金沢アシュラム                 |
| 6月23日(慰霊の日前後) | たびんちゅ牧師と行く<br>沖縄巡礼の旅 沖縄聖書教室 |
| 7月            | 天上の友を憶える日礼拝                 |
| 9月8日~9日       | 新潟アシュラム                     |
| 9月25日~27日     | 第14回<br>国際正義平和アシュラム in 神戸   |
| 10月2日~3日      | 山陰アシュラム                     |
| 10月11日~13日    | 第5回 日光オリーブの里アシュラム           |
| 11月23日~25日    | 第41回 阪神アシュラム                |

主に向かって 新しい歌を...♪



皆様のお祈りに感謝をこめて アシュラムセンター 一同

## みことば

岡山聖書集会(無教会)  
香西 信

## 「ことばの意味を開く(11)」

「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ」  
これは、マルコ福音書が記録するイエスさまが十字架上で発した唯一の言葉です。聖書が解説しているように「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか。」という意味の詞です。この言葉がどうして神の知恵となり私たちが救われるのでしょうか。それは、聖書全体の真理の示し方に共通する逆説的な特徴によるのです。

例えば、私たちが深く傷つき落ち込んでいる友人を励ます時に「元気を出して。」とか「頑張って。」とか安易な言葉をかけるとその人をますます傷つけてしまうこと。そういうことはよくあるのではないのでしょうか。自分が深く落ち込んでる時に元気な人からそういう言葉をかけられてもちっとも慰めにはならないわけです。

そうではなくて、自分よりももっと深い絶望の中の絶望を味わわれている方の存在に触れること。そのような人が自分の存在を通して慰めを与えてくれると本当にホッとするわけです。そのような方の存在に触れると自分の悩みなどは取るに足らないものだ。と思うことができ、心の深いところで静かに慰めと平安が与えられるのです。

イエスさまの存在が私たちの支えになっていること。それは、イエスさまご自身がこのようなギリギリの絶望の淵に立って、絶望の叫びを上げられて、十字架に磔になったまま、最も低い深いところから私たちの魂を支えてくださっているからです。無神経に元気を出せと言われるより、このような一見逆説的な励ましの方が、実は私たちの魂に深く配慮した慰めとなるのです。これが聖書の真理の大切な特徴になっています。

## たびんちゅ牧師の今日も求道中

FEBCラジオ放送にて  
恵師 担当番組、始まっています!  
2017.1月~3月(毎週水曜日)夜10:14~  
AMラジオ1566 KHz インターネットwww.febc.jp.com

